

運輸安全マネジメント取組み結果の評価

第 62 期(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

1、概要

年間を通じ重大事故の発生は無かったが、交通事故 1 件(自損事故)が発生し、目標を達成することが出来なかった。しかし、実技訓練の実施については、年間 11 回を達成し、目標を大幅に上回ることができた。『死角による事故を無くす』についても、車庫に訓練場を設置し、日々のトレーニングに活用できた。健康起因事故防止のため、対象者に対して SAS 検査及び保健師からの特定保健指導も目標を達成し、これらにより健康起因による事故を防ぐことが出来た。乗務員の平均年齢も上がってきていることから、これからも安全運転技術向上を目的とした研修会、健康起因による事故防止を目的とした健康管理の徹底について、継続的に実施する必要がある。

2、年間目標/結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	死角の事故対策として、車庫に訓練場を設置し、日々訓練する	週 5 回以上実施	100%達成 年間 250 回以上実施	○
2	事故撲滅のためのエコドライブ技術の個別実技訓練	週 5 回以上実施	100%達成 年間 250 回以上実施	○
3	健康起因事故の防止	健康起因による 事故 0 件	0 件	○

(1) 交通事故の結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	人身事故	0 件	0 件	○
2	物損事故	0 件	0 件	○
3	自損事故	0 件	1 件	×

(2) 運送の安全に対する投資:【目標:100 千円 /実績:105 千円】

No.	項目	目標	結果	判定
1	日常的に死角の範囲及び危険性の教育を行う	週 5 回以上	年間 250 回 以上実施	○
2	安全運転に繋がる燃費向上のため、乗務指導職による個別実技訓練を行う	週 5 回以上	年間 250 回 以上実施	○
3	安全運転に繋がる燃費向上のため、専門機関による実技訓練を行う	年間 2 回	年間 2 回実施	○
4	危険予知し事故を回避するためKYT活動を行う	年間 6 回	年間 10 回実施	○
5	血圧が高めの方は保健師指導を受ける	対象者 100%実施	対象者 100%実施	○
6	対象者の SAS 検査	100 千円 (14 名)	105 千円 (15 名)	○

(3) 事故に関する統計(自動車事故報告規則第2条に規定される事故)

項目	目標	実績	判定
2024 年度	0 件	0 件	○

2025 年 4 月 1 日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役 樋口恵一

本社営業所